

松江市地域公共交通計画の 概要及びスケジュールについて

令和5年5月22日
都市整備部交通政策課

1. 経緯及び背景

(1) 「松江市地域公共交通網形成計画（第3次計画）」が更新年度となる
計画期間：H29～R5 ※コロナの影響により2年延長

- 引き続き持続可能な公共交通網を形成が必要
- 利便性向上及び効率的な運営のため **A I デマンドバス**を含めた新たな交通網形成を図る

(2) 法改正により、計画における**補助系統の位置付けを補助要件化**（R6.10～）

- 計画制度と補助制度の連動化により、
計画に位置付けられていない補助系統は**補助対象外**

(3) 公共交通を取り巻く現状の変化

- 新型コロナウイルスの影響、人口減少、人手不足など

⇒以上より、「**松江市地域公共交通計画（第4次計画）**」を作成

※法改正により、「地域公共交通網形成計画」⇒「地域公共交通計画」へ名称変更

2. 松江市地域公共交通網形成計画（第3次計画）の概要

- 基本方針：『だれもが安心して、やさしく移動できるまち・松江』
～バスを中心としたまちづくり、自動車利用者との共存ほか～
- 計画の目標：路線バス・コミュニティバスの維持、バスサービスの満足度ほか

(1) 基本方針



(2) 計画の目標

評価項目	評価指標	現状値 (第二次計画評価時)	目標値
路線バスの維持	実車走行キロ (万km/年)	348	348
コミュニティバスの維持	市の中心部までの 往復移動可能回数	週2回以上	週2回以上
路線バスの利用者数	年間乗車人数 (万人/年)	448	448
バスサービス全体の満足度	満足度(%) (バスの総合評価)	69	80

3. 松江市地域公共交通計画（第4次計画）のコンセプト

持続可能な公共交通のために・・・

- ・新たな時代に対応したまちづくり
- ・中心市街地の再生及び観光振興の視点
- ・市民・企業・交通事業者・行政の良好な関係
- ・利用者の利便性向上

【現＋新】

松江市独自の交通体系へ

- 地域の特性を考慮した、**AIデマンドバスと既存の路線バスの連携・接結の促進**
- 二次交通を補完する**新たなモビリティ**の導入検討

【新】

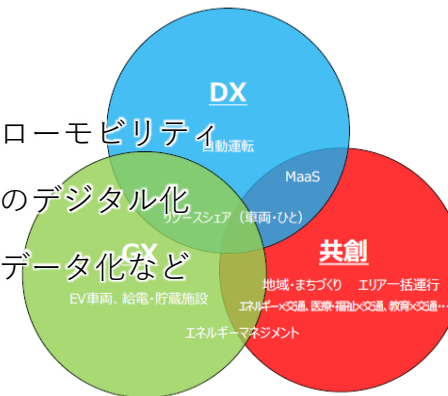
○MaaSの推進

- ・AIデマンド
- ・グリーンスローモビリティ
- ・交通事業者のデジタル化
- ・地域交通のデータ化など

【現行】

○バスを中心に

公共交通網を整備したまちづくり



⇒ 『**新たな時代に対応**した、誰もが利用しやすい公共交通の構築』

～**現行**の交通体系と**新たな時代**に対応した**交通体系**を融合し、コンパクト・プラス・ネットワークの具現化へ～

4. 策定スケジュール

- ・ R5.5.22 : 第1回市民会議
- ・ R5.5～7 : プロポーザル審査委員会
- ・ R5.7 : 第2回市民会議、プロポーザル審査結果報告
- ・ R5.8 : 第3回市民会議、市民アンケート
- ・ R5.11 : 第4回市民会議、交通事業者ヒアリング
- ・ R5.12 : 第5回市民会議、現行計画の評価および新計画の骨子
- ・ R6.2 : 第6回市民会議、パブリックコメント
- ・ R6.3 : 第7回市民会議、計画策定

5. 予算財源

事業費：13,300千円

(内訳)

松江市：10,800千円

国：2,500千円（地域公共交通確保維持改善事業費補助金）